

## 『2023年度 レフェリーの目標と6人制の重点指導項目』

JVA大会運営事業本部 審判規則委員会 指導部

### 1 目 標

- (1) 競技規則の精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。

### 2 重点指導項目

#### 【ファーストレフェリー】

- (1) 最終判定について
  - ・自ら判定を行う。ホイッスル後に、副審と必要なラインジャッジを確認し、最終判定を出す。
  - ・責任を持って説明ができるよう、最終判定を行う。
- (2) ハンドリング基準について
  - ・基準および判定の仕方についての確認を行い、すべてのレフェリーが統一できるようにする。
  - ・特に、試合を通しては統一して判定できるよう基準をもつ。
- (3) 不法な行為について
  - ・参加競技者の不法な行為に対しては、毅然とした態度で競技規則を適用する。
  - ・最終判定後、セカンドレフェリーと協働し、コートを確認する。
  - ・軽度な不法行為を繰り返すことがないために、早い段階でステージ1を与える。

#### 【セカンドレフェリー】

- (1) 中断の要求およびベンチコントロールについて
  - ・ワンラリー毎にベンチコントロールを行い、不法な行為や正規の中断の要求の有無を確認し、スムーズなゲーム運営を行う。
  - ・選手交代の手続きを十分理解し、複数の交代、両チーム同時のケースについてスムーズに行えるようにする。
- (2) 不法な行為について
  - ・最終判定後、ファーストレフェリーと協働しコートを確認する。特に、ネット際やベンチ等でファーストレフェリーが気づかない不法な行為があればファーストレフェリーに伝える。
- (3) ネット際の判定について
  - ・選手がネット際でボールをプレーする動作中、ボールを追わずにネット際に目を残し判定をする。
  - ・ペネトレーション等
- (4) スコアシートの最終確認及び試合中のスコアラーのコントロール・不測の事態の際の手順の確認

#### 【スコアラー】

サービス順の確認、得点の確認をしながら、正確に記録をつける。疑わしいときは試合を止め、アシスタントスコアラー等に確認をしてミスの無いようにする。  
(JVIMSがある場合は、その情報も参考にする)

#### 【アシスタントスコアラー】

- (1) 不法なリベロリプレイメントがあれば、サービス許可のホイッスルのあと、ただちにブザーを鳴らす。
- (2) スコアボードの得点が正しいか確認する。